

令和 6 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	国語科	年次	3学年	使用教材	高等学校 標準論理国語(第一学習社) 常用漢字フォルダ(浜島書店) ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)
科目名	論理国語	必修	単位	2	

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習方法

(1) 授業について

- ① 話し合いやグループワークでは、自分の考えを深めるとともに、他者の視点を知ることを意識しましょう。
- ② さまざまな文章を読んで、論理的に考える力や他者に共感する力、想像する力を養いましょう。
- ③ 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることを意識して、作文や発表、プレゼンテーションなどの活動に取り組みましょ

(2) 学習の留意点

- ① 意味や使い方がわからない語句や漢字は、chromebookや国語辞典を活用して必ず調べましょう。
- ② ワークシートや作文、レポート等の提出期限を確認し、計画的に取り組みましょう。
- ③ わからないことはそのままにせず、質問しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点	評価の観点の趣旨
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
B B B	6	3
A B C	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	
C C C	1	1

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
授業内の活動への参加状況	○	○	◎	発言や取り組みの内容
スピーチ・グループ発表	○	◎	○	内容、発表の仕方
作文・プリント等への取り組み	○	◎	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
単元テスト	◎	◎	○	内容、理解度
小テスト	○	○	◎	取り組み

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名:論理国語

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	話す・聞く	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	積極的に学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い、適切な評価を行おうとしている。
2	書くこと	主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えを明確に述べている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	目的や意図に応じて適切な内容や形式について粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。
3	読むこと	主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。
4				
5				
6				
7				
8				

年間学習計画

教科(国語)学年(3)
履修形態(必修)

科目(論理国語)
単位(2)

時数計 書くこと:28h 読むこと:42h

学期	時	単元名 (内容のまとまり)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点			
							①	②	③	
前	10h	レポートを書く (書くこと) 10h	構成を考えてレポートを書く	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。 ・実際にレポートを書く方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学ぶ。 ・教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。	・発見力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○	
	8h	新しい視点 (読むこと) 8h	新しい博物学を (池内了)	・各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・近代科学の具体例をあげ、「新しい博物学」を提案した文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・発見力 ・探究力 ・行動量 ・グローバルカルカ ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト		○	○	
	8h	人間と社会 (読むこと) 8h	コミュニケーションの文化 (平田オリザ)	・文章構成や事例をもとに「コミュニケーションの文化」についての筆者の主張を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	・学ぶ力 ・探究力 ・グローバルカルカ ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト		○	○	
	8h	生活と自然 (読むこと) 8h	クマを変えてしまう人間 (千松信也)	・猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・社会的な話題について書かれた説論文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバルカルカ ・判断力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト		○	○	
	10h	生への思索 (読むこと) 10h	経験の教えについて (森本哲郎)	・論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章に関連した題材について、調査したことをまとめたり発表したりする。	・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバルカルカ ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト		○	○	
	8h	現代と社会 (読むこと) 8h	支え合うことの意味 (鷺田清一)	・抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなが要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・人と人との「支え合い」について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト		○	○	
	後	6h	小論文を書く (書くこと) 6h	課題の文章を読んで情報を整理する	・課題文型小論文への対応のしかたを理解する。 ・課題文の論旨と主題を読み取る方法を理解する。 ・課題文を要約する方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 ・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○
		6h	小論文を書く (書くこと) 6h	得られた情報を整理して自分の考えをまとめる	・課題文から得た情報と設問の指示とをふまえて、自分の考えを決める方法を理解する。 ・主張を支える根拠をあげる方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 ・得られた情報をもとに自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 ・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○
		6h	小論文を書く (書くこと) 6h	構成を考えて小論文を書く	・論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。 ・本論部分を充実させることの重要性を理解する。 ・実際に小論文を書く方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する。 ・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・発見力 ・探究力 ・グローバルカルカ ・思考力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○
		6h	小論文を書く (書くこと) 6h	構成を考えて小論文を書く	・論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。 ・本論部分を充実させることの重要性を理解する。 ・実際に小論文を書く方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する。 ・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。	・発見力 ・探究力 ・グローバルカルカ ・思考力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み	○	○	○

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		論理国語	教材 題材	構成を考えてレポートを書く		
単位数		2				
単元名		レポートを書く				
内容のまとめ		(書くこと) 10h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容		・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。				
		・実際にレポートを書く方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。				
		・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学ぶ。				
		0				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○			○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○		○	
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・表現力
科目名		論理国語	教材 題材	新しい博物学を (池内了)		
単位数		2				
単元名		新しい視点				
内容のまとめ		(読むこと) 8h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容		・各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。				
		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				
		・近代科学の具体例をあげ、「新しい博物学」を提案した文章の内容を基に、自分の考えを論述する。				
		・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み		○		○	
	単元テスト・小テスト	○	○			
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修		
科目名		論理国語	教材 題材	コミュニケーションの文化	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
単位数		2		(平田オリザ)		
単元名		人間と社会				
内容のまとめ		(読むこと) 8h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容		・文章構成や事例をもとに「コミュニケーションの文化」についての筆者の主張を把握する。				
		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				
		・国や民族によるコミュニケーション文化の違いについて述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。				
		・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み		○		○	
	単元テスト・小テスト	○	○			
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・判断力
科目名		論理国語	教材 題材	クマを変えてしまう人間		
単位数		2		(千松信也)		
単元名		生活と自然				
内容のまとめ		(読むこと) 8h				
単元の目標		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。		
単元の学習内容		・猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。				
		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				
		・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				
		・社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。				
単元の評価規準		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み			○	○	
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		論理国語	教材 題材	経験の教えについて (森本哲郎)		
単位数		2				
単元名		生への思索				
内容のまとめ		(読むこと) 10h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容		・論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて考えを深める。				
		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				
		・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				
		・文章に関連した題材について、調査したことをまとめたり発表したりする。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況					○
	作文・プリント等への取り組み			○		○
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修		
科目名		論理国語	教材 題材	支え合うことの意味 (鷲田清一)	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単位数		2				
単元名		現代と社会				
内容のまとめ		(読むこと) 8h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容		・抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。				
		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				
		・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				
		・人と人との「支え合い」について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況					○
	作文・プリント等への取り組み			○		○
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・表現力
科目名		論理国語	教材 題材	課題の文章を読んで情報を整理する		
単位数		2				
単元名		小論文を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 6h				
単元の目標		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。		
単元の学習内容		・課題文型小論文への対応のしかたを理解する。 ・課題文の論旨と主題を読み取る方法を理解する。				
		・課題文を要約する方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。				
		・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。				
単元の評価規準		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○		○		
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○		
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修		
科目名		論理国語	教材 題材	得られた情報を分析して自分の考えを決める	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力
単位数		2				
単元名		小論文を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 6h				
単元の目標		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。		
単元の学習内容		・課題文から得た情報と設問の指示とをふまえて、自分の考えを決める方法を理解する。				
		・主張を支える根拠をあげる方法を理解する。 ・設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。				
		・得られた情報をもとに自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。				
		・文や文章の効果的な組み立てや接続について理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。				
単元の評価規準		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○			○	
	作文・プリント等への取り組み	○		○	○	
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	3学年 必修		
科目名		論理国語	教材 題材	構成を考えて小論文を書く	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・表現力
単位数		2				
単元名		小論文を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 6h				
単元の目標		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。		
単元の学習内容		・論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。 ・本論部分を充実させることの重要性を理解する。				
		0				
		0				
		0				
単元の評価規準		知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況	○			○	
	作文・プリント等への取り組み	○		○		○
配当時間		6時間				
補足等						